

地域における人材育成と関係づくり

～これからも秋田でよりよく暮らしていくために～



秋田県自然保護課 近藤麻実

秋田県とツキノワグマ

背景

マタギ文化・山菜採り文化
クマの事故は多いが、
主に山菜採り+死亡事故はほぼ無し



2010年代～ 人の生活圏での人身事故が増え始める

2016 死亡事故4件（山菜採り）

2017 死亡事故1件（山菜採り）

2019 市街地出没対応中の事故（3名負傷）

2020 専門職員採用

秋田県のクマ対策

① 出沒・事故を防ぐための対策

- ・集落点検
- ・緩衝帯整備
- ・出沒・事故を防ぐ知識の普及

職員研修

あきた県庁出前講座 etc.

② 出沒してしまった場合への備え・対応

- ・市街地出沒対応指針→想定訓練
- ・轟音玉講習会
- ・出沒対応サポート

③ 事故が起きてしまった場合の対応

- ・人身事故検証
- ・検証結果の公開→事故防止に向けた普及

安全はみんなで作るもの

専門職員が地域全体・住民一人ひとりのボディガードや
すべての田畑の番をする（できる）わけではない！



だからこそ

住民一人ひとりの対策知識・意識の向上～対策の実行が必須



そのために

地域を支える人材が必要

クマ対策にあたる**関係者の知識・技術の向上**

信頼関係・連携体制の構築

クマ対策人材育成研修

✓ 2023スタート

これまで：ゆったりやらなかったり、単発

これから：年間行事のひとつに位置づけ、体系的に

①基礎編（座学）

②応用編（実習）電気柵実習、痕跡の読み方など

✓ 対象

市町村職員

振興局職員：森づくり推進課（捕獲許可事務など猟政）

農業振興普及課（普及員）

研修で明示する「対策の目的」

なぜ鳥獣対策をするのか

これからもこの地域で

住民が安全に・豊かに暮らすため

✓ 捕獲はこれを実現する手段のひとつ

✓ 捕獲だけでは出沒・被害は減らないので、さまざまな対策を複合的に組み合わせましょう！

…対策の知識

住民に理解してもらうための説明

説明できる知識やスキル



研修は始まったばかりだけど

秋田県では毎年各地でクマ関係のいろんな事案が発生…



2020～専門職員採用

- ✓ 出没や農作物被害…都度、県から助言・対策サポート
- ✓ 折に触れデータ・情報提供 など…



研修より現場先行でOJTが進んでいる



市町村のサポート（OJT）を続ける中で

現場の「困った」の改善

→市町村の安心感、市町村と県との信頼関係

「頼りにしています！」

「データとか情報とか、後ろ盾になってくれるのがありがたい。
対外的に何か説明しなくてはいけないときに自信を持って話せる。」

「これまで県は現場に来ない、連絡だけよこす。
専門職員来てくれてどれだけ現場が良くなったか。」

「ある程度自分たちでも対応できるようになってきたから、
なんとかできることは自分たちで対応します！」

人とのつながりからの広がり①



県の出前講座を
たまたま聞いていた市職員
↓
住民から畑のクマ対策を相談され
「県のあのの人に相談してみよう！」
↓
人材育成研修を兼ねて
行政職員×住民で電気柵設置
↓
住民、効果を実感
「圃場を広げて作付け増やす！」

人とのつながりからの広がり①



「道の駅で売ろう」
「花火大会で売りたい」
「最近みんなで集まることが
減ってたけど、
こうして集まる機会が増えて
うれしい」
「将来的には体験農場とか
オーナー制度とかどうだ？
集落外の人にも
この地域を楽しんでもらって…」

人とのつながりからの広がり②



毎年クマの被害を受けるセリ畑について
市から県に相談
↓
農家さんに話を聞いてみると…
「電気柵張ったけど突破される」
「捕獲してもらえない」
↓
ラインの取り方の改善を提案、
市、振興局、JAなど集まって設置
↓
農家さん
「こんなに手伝ってもらったからには
草刈りとかしっかりがんばる」



人とのつながりからの広がり②



被害なくシーズン終了！
↓
農家さん
「張り方わかった。
来年も同じように自分でやってみる」
↓
市職員、農家さんに感謝&慰労される
「今年は大変だったでしょう
よくがんばったよ」



人とのつながりからの広がり③



クマの出没が相次ぐ集落の対策について
市議から市職員へ相談
↓
市職員から県へ
「集落点検を一緒にしてもらえないか」
↓
住民とお茶しながら作戦会議
～みんなで集落点検
↓
想像以上に集落内のクリの木に食痕…
「マップ化して全戸に回覧しよう！」

人とのつながりからの広がり③



✓ 集落内で情報共有
✓ 伐採するクリは伐採、
残すクリはみんなで
収穫
↓
事故ゼロ！

よりよく暮らしていくために

なぜ鳥獣対策をするのか

これからもこの地域で
住民が安全に・豊かに暮らすため

- ✓ 捕獲はこれを実現する手段のひとつ
- ✓ 捕獲だけでは出没・被害は減らないので、さまざまな対策を複合的に組み合わせましょう！
…対策の知識
住民に理解してもらうための説明
説明できる知識やスキル

よりよい秋田にしていくこと、
それを下支えするのが
私たちの仕事なんですよ～



よりよく暮らしていくために

「できた」
「守れた」
「感謝された」
「ほめられた」

市町村や地域住民の
成功体験・自信・やりがいに



これからも市町村や地域住民との関係を紡ぎ、
少しずつ対策を進めて・続けていくことで
よりよい秋田に！

